

## 学長のコラム

### 仕事のできる添乗員

連休と休暇を使わせていただいて、7~8年越しのスペイン旅行を、実現することができました。国際会議などで、欧米には10数回行っていますが、すべて、自前の旅行でしたので、添乗員付きのバック旅行への参加ははじめてのことでした。9カップル18人の団体旅行で、大変満足のいくものでしたが、その内容は別の機会にお話することにして、感銘を受けた添乗員（女性）の仕事ぶりについて書きます。彼女は、添乗歴21年のベテランで阪急交通社を代表する4人のクリスタルハート（ブランド名）専任添乗員の一人で、総添乗日数は3476日、平均すると1年の約半分165日を添乗している。時差もあるのでかなり疲労するはずですが、彼女は、毎月平均2.5回程度旅行しているというから、そのハードさが良くわかります。旅行中感心したことをいくつか述べます。

○プライバシーの尊重：9カップルがそろっても、自己紹介をする機会は作らず、意識的にプライバシーを尊重しているし、必要以上にプライバシーに入り込まない。

○個別対応をするが公平である：旅行中、妻を含めて二人が、体調を崩したが、タクシーで早めにホテルに送り届けるなど、個別の対応はするが、えこ贔負はしない。小生がセビリアで、スペインが世界に誇るカラトラバという人の設計になる橋を見たいというと、運転手さんに聞き合わせてくれ、バスがその橋を渡ることを事前に知り得た。橋を渡るときに、最前列に着席している彼女が小生のi-padでビデオ撮影をしてくれたのには感激、感謝。

○トラブルに動じず、適切に対応：バルセロナからの飛行機が、激しい雷雨のため、2時間遅れて夜フランクフルトに着いたが、日本行の飛行機は、飛び立ってしまっており、さあ、大変。フランクフルトに何日か泊まることになるかと覚悟した。しかし、最終的には、上海経由のフライトが確保できて、深夜に羽田に着くことができた。この答えが出るまで4時間、彼女は、決してあわてず、ゆっくりとした明快な口調で状況を説明した後、空港内を走り回り、解決策を見出した。その間、全く我々を不安にさせることはなかった。

○ユーモア：毎朝、バスに乗ると、忘れ物をチェックする。その時、「旦那様をホテルに忘れていませんか？」などと、笑わせ、リラックスさせる。

○細かな配慮：バスの良い席2列目、3列目は、掲示により、毎日交代する、自由食の日も適切なレストランに案内してくれ、飲み物のオーダーや支払いはすべてやっていただいた。

顧客満足度を高める素晴らしい働きぶりに、顧客を学生に置き換えた場合の私も教職員の在り方に多くの示唆を頂いた気がする。



### 米満弘之前理事長への感謝の会

4月6日(木)に本学教職員(参加者104名)による「米満弘之前理事長への感謝の会」を開催しました。(会場:熊本ホテルキャッスルにて)

発起人代表の崎元理事長・学長の挨拶に始まり、花束贈呈・米満前理事長ご挨拶・安部副学長による乾杯のご発声で開始されました。歓談の途中で総務部女性チームがサプライズを行ったりと、終始和やかな雰囲気でした。

最後は高濱副学長による万歳三唱で会を閉じました。(文責:企画課)



### 5月・6月・7月の主な行事予定

5月 28日(日)	地域包括連携医療教育研究センター キックオフシンポジウム 会場:50周年記念館
31日(水)	学校法人银杏学園 理事会・評議員会
6月 1日(木)	コンケン大学交換研修生受入 6/1~6/14
17日(土)	学友会主催 球技大会
30日(金)	進路指導者向け進学説明会
7月 1日(土)	脳卒中リハビリテーション看護分野入学試験 大邱保健大学交換研修生受入 7/1~7/14
2日(日)	進学ガイダンスセミナー2017(大学コンソーシアム熊本) *本学にて開催
10日(月)	国際シンポジウム 7/10~7/11
23日(日)	第1回オープンキャンパス
31日(月)	前期定期試験(予備日含む) 7/31~8/8

### 成績優秀者表彰式

4月13日(木)に平成28年度成績優秀者表彰式を行いました。成績・人物ともに優秀であった21名(医学検査学科6名、看護学科6名、リハビリテーション学科9名)に対し、崎元学長より表彰状と奨励金が授与されました。表彰されたみなさん、おめでとうございます!今後一層の飛躍をお祈りします。(文責:平川文文学務課長)



## 杏友会 歓送迎会 (会場:熊本ホテルキャッスル)

4月13日(木)に杏友会歓送迎会を行いました。退職者3名、新任者19名を含め計143名の教職員の皆様にご出席いただき、崎元理事長・学長、安部副学長よりご挨拶をいただいた後、高濱副学長による乾杯のご発声で歓談がスタートしました。

退職者への花束贈呈や、新任者による笑いを交えた自己紹介、最後には杉内学部長のご発声により参加者全員での万歳三唱が行われ、終始賑やかな会となりました。(文責:杏友会幹事)



## 2016年度大学教育改革推進プログラム(学長裁量経費)成果報告会

4月14日(金)に50周年記念館において成果報告会が開催されました。午前の部に5プログラム・午後の部に3プログラム計画され、質問が多くて持ち時間をオーバーするプログラムもあり、有意義な報告会となりました。(文責:企画課)



## JICA 国別研修

4月11日(火)にマレーシアからJICA国別研修「EPP 高齢者に対する健康管理」に参加していた医師、PT、OT、SW、看護師など合計11名の方が本学を訪問されました。人口増加と少子高齢化が進むマレーシアは、高齢者が住み慣れた地域の中で暮らしていけるための政策作りが必要で、そのための研修が昨年開始されました。本学では崎元学長の挨拶のあと、大学施設内見学、竹熊教授による講義、「ホームホスピスわれもこう」へと見学に行きました。

文化的背景や医療システム、高齢者が抱える今後の課題の相違点について意見を出し合い、互いにとって有意義な国際交流の機会であったと言えます。(文責:徳永郁子准教授)



## 出版物のご紹介

【1】実習に関する書を紹介させていただきます。教育、臨床の場で活躍している若いPT、OT、STのセラピストが執筆し、ベテランのセラピストが監修しています。本学の教員、池寄寛人先生、本学大学院の修生、小田原守氏、竹谷剛生氏、本学理学療法学専攻卒業4期生 田中誘一氏が著者として参加しています。出版社は金芳堂です (文責:大塚裕一准教授)



【2】認知症を楽しく予防しよう!

出版社 医学と看護社  
発行日 2017-04-15  
著者 飯山準一(監修)  
久保高明 木村伊津子 吉田真理子  
大塚裕一 宮本恵美(著)  
ISBN 978-4-906829-72-9  
ページ数 153



## 私の秘話ヒストリー

今回はリハビリテーション学科・生活機能療法学専攻の益満美寿講師に投稿していただきました。

### 「私にとって切り離せない作業」

私は、小さい頃からオリンピック出場を夢見て本気で水泳に打ち込んでいた。しかし、中学2年の春に転機が訪れ、『スポーツ(運動すること)をすべてやめた!』反抗期も重なり父親から中学校もやめさせられる勢いだったことを覚えている。しかし、この挫折のおかげで真面目に勉強をするきっかけを得たので、今思えば良かったのかもしれない。

絶縁したはずのスポーツが復活し始めたのは、病院へ就職してからである。院長や局長をはじめ先輩たちは、私の体格を見るとすぐに「スポーツできるよね!今週末、集合ね!」と断る猶予も与えず、テニス、ゴルフ、野球、バレーボール、バドミントンなどにも誘ってくださった。

また私がリハビリを担当した四肢不全麻痺の患者さん(長年、市の水泳指導員をされている方)を勇気づけるため、15年ぶりにピチピチの競泳用水着を着てマスターズ水泳大会に出場したこともあった。そして、本学に赴任すると、一緒にスポーツを楽しもうと積極的に誘ってくれる仲間(写真)に出逢った。この仲間のおかげで、鹿児島島の錦江湾横断遠泳大会やトライアスロン大会、マラソン大会などにも出場でき、とても感謝している。

こうして振り返ると…私の人生において『スポーツ』が、人との出逢いや絆を広げてくれ、何気ない日常に彩りを与えてくれる重要な作業であることは間違い無い。(文責:益満美寿 講師)